

2023年度 公益事業一覧

1 自主研究会事業

1	継続3年目	鶴若 麻理	アドバンスケアプランニングの議論からわが国の患者主体の医療を再考する
2	継続3年目	渡邊多恵子	コミュニティエンパワメントに向けた多職種連携のあり方と課題
3	継続3年目	清水 美香	森とレジリエンス～地域の再生～
4	継続3年目	等々力英美	やんばるの森：沖縄における地域共生・精神文化・環境保全の役割と再生研究会
5	継続2年目	江口 晶子	生存の理法と現代社会の課題に関する実践的研究-人的環境に焦点を当てて-
6	継続2年目	齋藤 直子	全体として人を見る/診る/看ること
7	継続2年目	坪内 暁子	「避難所地域のリスク情報コンテンツ制作」に向けた、成城学校地理研究部との連携で進める地域防災研究
8	継続2年目	吉田 浩子	我が国におけるソーシャル・インクルージョンの実際と実現可能性の検討-育児や介護に関する社会的支援に対する意識調査から-
9	新規	榊蔵 美智子	過疎地と都市部における高齢者の心理・比較研究
10	新規	長井 寿	「人類の安寧とより良き生存」を目指した工学倫理と工学教育
11	新規	黒田 由貴子	資本主義と持続可能な人間社会の可能性

自主研究会事業(若手研究者)

1	新規	宇野澤 千尋	患者が捉える医療者との「話し合い」の構成要素 -腎代替療法選択時の「話し合い」の経験から-
2	新規	稲生 宏泰	介入可能かつ有効なメンタルヘルス政策の社会的決定要因のデータに基づく構築
3	新規	宮城 利佳子	幼小接続期の教育から生涯の well-being を考える～沖縄の文化をいかし、教育格差、健康格差、医療格差を軽減する試み～
4	新規	北川 裕美子	COVID-19蔓延下における持続可能な社会的支援のあり方：食支援活動利用者の利用実態と社会生活上での葛藤に着目して
5	新規	浅岡 由衣	依存症の社会的背景の解明

2 助成研究事業

1) 研究助成

(1) 地域の医療・ケアにおける倫理支援の実践に関する研究

1	青木 秀哲 (和歌山県立医大)	先天的および後天的身体障がい者の心理の相違についての比較検討
2	長尾 式子 (北里大学看護学部)	地域在宅医療における倫理支援活動
3	大貫 優子 (東海大学医学部)	臨床倫理コンサルテーション事例共有体制の構築
4	吉田 一隆 (福島県立医科大学)	高齢者の孤独予防に向けた家族システム理論による倫理的な診療指針の開発
5	赤林 朗 (東京大学大学院医学系研究科)	現代的な新たな差別に配慮した地域医療ケアの倫理的アプローチの探索
6	堂園俊彦 (静岡大学大学院人文社会科学領域)	地域ケア会議を活用した地域における倫理支援システムの検討

(2) 地球温暖化対策としての人類の生存の安全を確保する環境や生態に関するアプローチ

1	日置 道隆 (森の防潮堤協会)	「森の防潮堤」植栽地の生長調査
2	内宮 律代 (東都大学幕張ヒューマンケア学部)	景観保全を目的とした公有地利用の実証的試み

(3) 生きづらさを抱えた子どもに対する支援の研究

1	田崎 美弥子 (東邦大学医学部医学科心理学研)	Attention Deficit/Hyper Activity Disorder (ADHD)児の家庭におけるニューロフィードバックトレーニング(NFT)の効果
2	大塚 類 (東京大学大学院教育学研究科)	地方在住の生きづらさを抱える中高生を対象とした対話型ワークショップの開発
3	遠藤 野ゆり (法政大学キャリアデザイン学部)	発達特性に生きづらさを抱える子どもにとっての自己表現の意義と課題の検討
4	鶴 美里 (神戸大学大学院 保険学研究科 院生)	ヤングケアラーの学生におけるストレスへの意味づけとQOL の関連 -非ヤングケアラーの学生との比較研究-
5	小澤典子 (慶應義塾大学 看護医療学部)	学校教員を対象としたブロラム口腔用液投与に関する研修プログラムの構築
6	木本 啓太郎 (東海大学医学部医学科総合診療学)	生化学的検査を考慮した子どもの精神状態の評価と治療

(4) その他 (研究助成)

1	大谷いづみ (立命館大学産業社会学部)	当事者視点による生命倫理教育・医療倫理教育に関する研究
2	坂東 興 (東京慈恵会医科大学心臓外科)	コミュニケーションが医療を変える

2) 公開講座・フォーラム等開催助成

1	本田美和子 (国立病院機構東京医療センター)	自律と自立が実現するケアの場の創生
2	神谷 恵子 (神谷法律事務所)	感染症の医療システムモデルの構築

3 生存科学叢書出版助成

生存科学研究所 学術誌ならび出版委員会	委員会にて今後の計画予定
------------------------	--------------

4 シンポジウム

第10回生存科学シンポジウムの開催

5 その他公益事業

1	学術誌「生存科学」発行 年2回
2	広報活動 生存科学ニュース、ホームページ管理、広報委員会等
3	委員会活動 選考委員会、倫理委員会、自主研究・助成研究交流会およびヒアリング等